



<第85回 ほほえみの会 総会>

創立以来8回目の総会には64人が参加しました。

2001年度の活動報告、会計報告があり了承されました。

また、会費納入について郵便振替の提案がありこちらでも了承されました。

今後は同封の振替用紙で振り込みをお願いします。

現金郵送より手数料が安く、領収書も確実に、

会計処理も効率化を図れるためです。

役員改選では新役員を募りましたがおらず、昨年度役員に引き続いてやっていただくことにしました。よろしくをお願いします。

新役員 代表 池田恵一 副代表 渡辺真澄 村瀬彰子
世話人 藤田妙子 杉山禎 鈴木啓之 堀内雅士
会計 小嶋隆

総会では二人に講演をして頂きました

▽「県立がんセンターについて」がんセンター小児科天野功二医長

9月に開院するがんセンターは富士山と駿河湾を望む長泉町の高台にある。11階建てで屋上レストランや展望風呂も。

ベット数は615床で日本で一、二を争う規模

電子カルテ導入でカルテやフィルムはすべてパソコンで処理

日本でも5～6番目という陽子線治療棟、緩和ケア病棟50床、

通院治療センター 小児病棟は9床個室1床はクリーンルーム

造血幹細胞移植病棟—移植専用室はナースルーム含めたエリア全体がクリーンルーム 小児科医師は2名 天野、石田

6歳～15歳、16歳以上は同じフロアにある内科で診る

外来だけなら6歳以下でも診る

完全予約制で30分に2人を診る予定、受診するときは受付で呼び出し受信機をもらい診察の順番になると鳴る仕組み、診察室の前で呼び出しを待つ必要ない

8月から予約開始、こども病院で紹介状を書いてくれる医師は全部で100人いるが小児を診る先生は2人だけ、こども病院には60人おり、こども病院との連携は不可欠、保母、学校問題もこれからの課題、感染症がある場合は入院は難しい 歯科や耳鼻科など他科へは天野先生が紹介状を書いて診てもらうことになる

▽特別講演「小児がんを経て」

オックスフォード・ブルックス大学 大学院生 渡辺晶子さん

現在は実家の名古屋でがんの子供のストレスについて研究論文作成中
7歳の時住んでいたニューヨークで急性リンパ性白血病発病
通院治療で完解に

日本に帰って入退院の繰り返し、その中での薬や治療のつらさ、いじめにあった体験、そして大学生の時に小児がんの子どもたちのサマーキャンプに参加したことから病気の子供たちの心理学に興味を持つ。

イギリスの大学院へ入学し、小児がんの子供のQOL向上と家族の心のケア治療中の子どものストレスの軽減について研究することに。

しかし、研究することは自分の辛い体験を思い出すことにつながり勉強が進まない。過去の治療体験がトラウマになっている。

研究では新聞におけるがんの取り扱いについて日本とイギリスの違いを調べた

イギリスではがん体験記などパーソナルな記事が多いのに比べ、日本ではがんの医学的発見や治療法など一般的記事が多い。日本ではがんであるということがオープンではない。

小児がんはほとんど治るというメッセージが社会に届いてほしい。一般の人たちに理解をしてほしい。

▽病気の子供にも治療などの説明に使え、抱いて寝ることも出来るキワニス人形と手作りの帽子をのぞみ財団から頂きました。B1病棟に預けますので希望者は看護婦さんに言ってもらって下さい。

| 次回は 8月11日(日) 11時からです |

ほほえみの会 代表 池田恵一 TEL054-247-9560

E-mailアドレスが変わりました k1ikedata@mx1.s-cnet.ne.jp

ホームページ再開しました <http://homepage3.nifty.com/hohoemi/>